



会津果樹情報

第7号



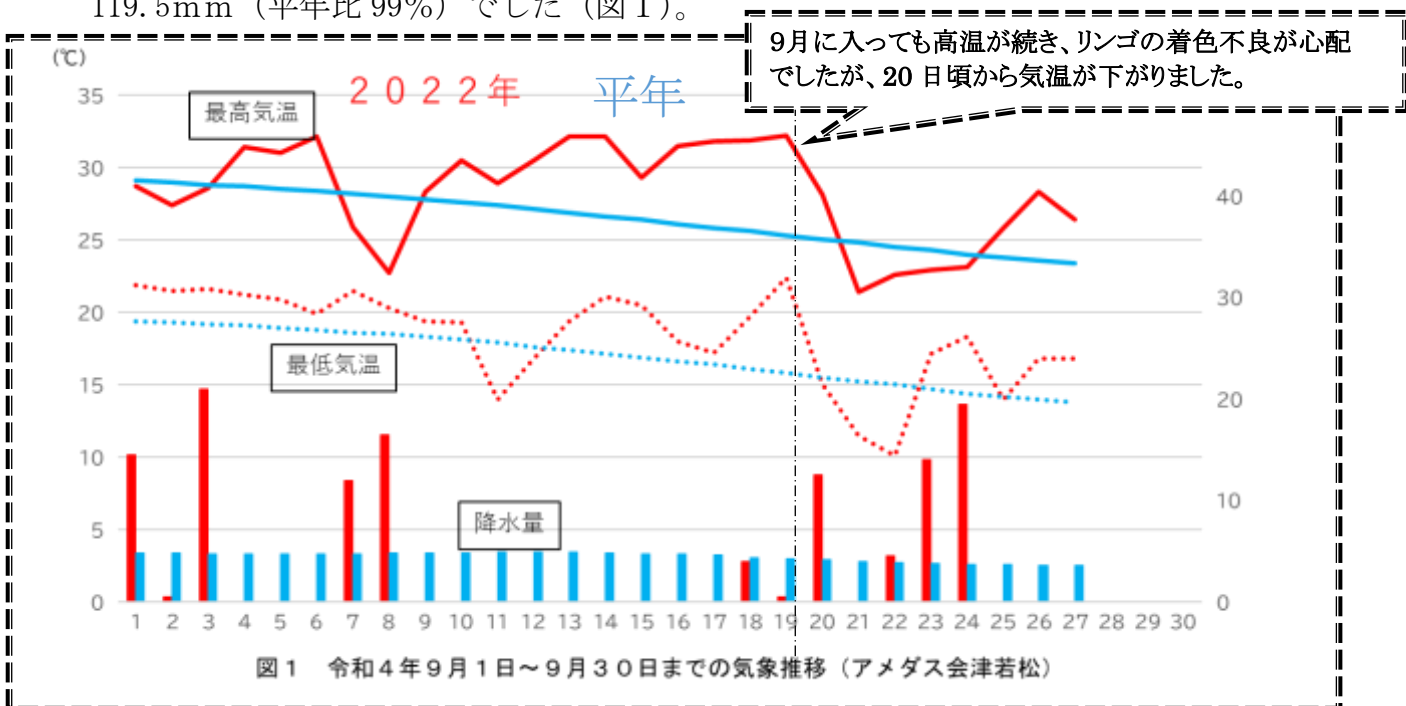
令和4年10月7日

福島県会津農林事務所 農業振興普及部
JA会津よつば あいづ西部営農経済センター

1 気象概況

(1) 先月(9月)の気象推移

会津若松市の令和4年9月の平均気温は 23.0℃ (平年比+1.9℃)、合計降水量は 119.5mm (平年比 99%) でした(図1)。



(2) 東北地方の1ヶ月予報(仙台管区气象台9/29発表)

10月中旬まで気温の変動が大きく、2週目(8日～14日)は気温がかなり低くなる可能性があります。

2 リンゴとカキの生育概況

(1) 果実肥大状況

表1 各樹種の果実肥大状況(10月1日調査、暦日比較、平年は1986～2021年の平均)

樹種	リンゴ		カキ	
	ふじ		会津身不知	
調査地点	会津若松市北会津町		会津若松市門田町	
項目	縦径	横径	縦径	側径
果実径(mm)	75.1	82.3	57.7	80.8
平年比(%)	100	100	104	108

満開後日数比でも「会津身不知」は平年より大きく推移しています。

(2) 会津身不知の着色状況

(調査地点：会津坂下町)

- ・今年(2022年)は平年と比べて着色が進んでいます(図2)。
- ・適期収穫を心がけてください。

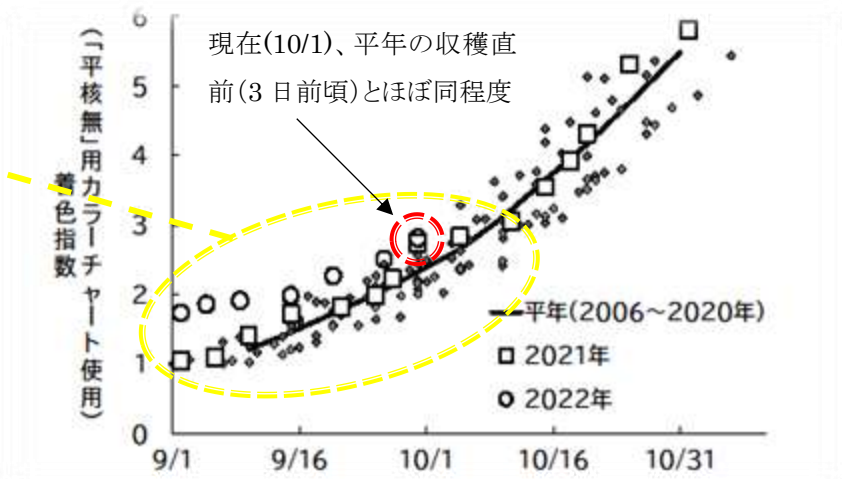


図2 カキ「会津身不知」の着色指数推移

3 今後の栽培管理

(1) リンゴ

ア ふじ



- ・着色管理として、**葉摘み**(ふじの場合、果面の30%程度着色した10月中旬頃に果実に密着した葉4~5枚を摘み取る)や**玉まわし**(1回では不十分なので、2回実施する)を行いましょう。

イ 黄色品種(王林、シナノゴールド)の収穫時期の判断



- ・果点が浮き上がり、果色がやや緑色の残った黄緑色のものから収穫します。

ウ 基肥

- ・速効性肥料と遅効性肥料を組み合わせ、9月下旬から10月上旬にかけて施用しましょう。
- ・降雨がない場合は**かん水**してください。土壌が乾いた状態だと施肥の効果が現れません。

(2) カキ



ア 収穫

- ・着色の良いものから2~3回に分けて収穫してください。
- ・収穫果は丁寧に取り扱い、果面を乾かしてから脱渋しましょう。傷果や濡れた状態の果実を脱渋すると、汚損(図3)の原因となります。

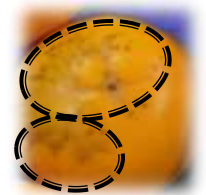


図3 汚損果

㊟ 今年のカキは平年と比べて着色が早く進んでいます。**適期収穫**を心がけてください!



もみじ君

イ 秋肥

- ・速効性肥料と遅効性肥料を組み合わせ、果実品質に悪影響がでない**収穫期中盤以降**に施用しましょう。
- ・施肥は樹冠拡大に合わせて外周より少し大きめの範囲に散布し、成木では全面に散布します。
- ・堆肥は樹勢や果実品質に応じて牛ふん等を施用します。

㊟ 牛ふん堆肥は**土壌改良の効果が**高いです!



(3) ブドウ

ア 間伐

- ・なるべく**収穫後早くに**（残す樹に十分に日光を当たるように）、**丁寧に**（残す樹の枝葉を傷つけないように）行ってください。

イ 基肥

- ・ブドウの場合、樹体の生育や果実の肥大、成熟のほとんどを10月下旬から12月頃に施用する基肥で供給します。
- ・いずれの品種も**緩効性の肥料**（有機配合肥料等）と**微量要素肥料**を使用します。

表2 各品種における基肥量と使用時期

品種	施肥の時期	量
シャインマスカット(園地)	10月下旬～12月頃	窒素(N)成分3kg/10a程度
シャインマスカット(ハウス栽培)	10月下旬～12月頃	窒素(N)成分100g/樹程度

4 病虫害防除

(1) 落葉病 (カキ)

- ・「落葉病」に罹病した樹から収穫した果実は品質が著しく低下しており、クレームや信用喪失の原因になるので**販売しないように**しましょう。

- ・今年多発した園地では、**秋季の落葉処理**と次年度の**梅雨**



図4 落葉病罹病葉

- 期の**薬剤防除**を徹底しましょう。

㊦ 落葉病の罹病葉 (図4)

は、翌年の感染源となります！



(2) 黒星病 (ナシ)

- ・9月下旬から11月上旬の**秋季防除**を必ず実施してください。

- ・会津地方主要果樹防除暦に基づき、「オーソサイド水和剤80」600倍を2週間間隔で3回散布します。

※ 3回目の散布が落葉率80%

(11月上旬頃)と重なるように！



(3) 各種病害 (ブドウ)

- ・**落葉**や**巻きひげ**の処理を進めましょう。

- ・ブドウトラカミキリの発生が多い園では、収穫終了後速やかにモスピラン顆粒水溶剤 2000倍を散布しましょう。



図5 ブドウトラカミキリ

幼虫が枝の表皮下を食害して越冬します。



図6 被害枝

結果母枝の節が黒ずみ、ヤニが吹きます。

5 その他

(1) 農作業安全運動

ア 高所作業

・果樹では収穫時などに高所で作業することが多く、転落などの危険が伴います。十分に注意して作業しましょう！

天板には登らない！

チェーンは外さない！
& 足場の確認！

イ トラクターの事故防止

- ・令和4年秋の重点推進テーマは「しめよう！シートベルト」です。
- ・10月に入り、県内で列車とトラクターが衝突する事故が発生しています。踏切を横断する際は十分注意しましょう。
- ・後進時は死角が多くなります。補助者による誘導や目印の設置等で対策してください。
- ・なるべく一人で作業をせず、やむを得ない場合は出かける前に作業内容や作業場所を家族等に明確に伝えておきましょう。



(2) 鳥獣対策

ア 鳥獣全般

- ・鳥獣の生息地と農地との間に緩衝地帯を設ける（農地に面した森林の強間伐等）ことにより、農地や集落への出没を減らすことができます。
- ・餌となり得る生ごみや放置果実は適正に処理（一か所に集めて埋める、柵で囲う等）しましょう。

イ 野そ（野ネズミ）

- ・被害の低減のためには10月中に殺そ剤を用いた駆除を行うことが重要です。

※ 除草してから行くとさらに効率的です！

（野ネズミの餌が減る&天敵である鳥やキツネに見つかりやすくなる）



ウ ツキノワグマ

- ・朝夕の時間帯に活動が活発になります。
- ・一人で農作業をする際は熊鈴を携帯、手を叩いて人がいることをアピールしましょう。



- 施肥の前に土壌診断を実施しましょう（一般的な土壌診断では石灰、苦土、リン酸、カリ、土壌pHが分かります。）！
- 農業災害が多発しています。農業保険（農業共済・収入保険）に加入しましょう！
- 10月は気温の変動が大きくなります。農作物の管理、体調管理等に注意してください。また、今後の気象情報等に留意してください。

